

第三十二回

「壺の碑」全国俳句大会

令和七年十月十二日（日）東北歴史博物館

日時◆

令和七年十月十二日（日）

午前十時～午後四時三十分

（俳句大会受付開始：午前九時三十分）

会場◆東北歴史博物館

宮城県多賀城市高崎一・二二一

（JR東北本線 国府多賀城駅 隣り）

主催◆「壺の碑」全国俳句大会実行委員会

投句先（事務局）

宮城県多賀城市下馬三丁目七ー一 一三〇一

TEL/FAX 〇二一 三六五 〇四九二

共催◆多賀城市・多賀城市教育委員会

協賛◆多賀城市観光協会、七ヶ浜町、多

賀城・七ヶ浜商工会、芸術銀河協賛事業

後援◆（公社）宮城県観光連盟、仙台・

宮城観光キャンペーン推進協議会、宮

城県俳句協会、宮城県現代俳句協会、

俳人協会宮城県支部、河北新報社、読

売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、

毎日新聞仙台支局、NHK仙台放送

局、tbc東北放送、仙台放送、ミヤ

ギテレビ、kbb東日本放送、Dat

efm、エフエムバイエリア株式会

社、宮城ケーブルテレビ株式会社



特別選者 西村 麒麟
講演 演 「虚子と芭蕉」

【略歴】

西村麒麟 「麒麟」主宰、「古志」同人。

一九八三年大阪府生れ、広島県尾道市育ち。江東

区在住。二〇〇五年「古志」入会。長谷川権に師

事。二〇〇九年第一回石田波郷俳句新人賞受賞。

二〇一四年第五回田中裕明賞受賞。二〇一六年第七

回北斗賞受賞。二〇一九年第六十五回角川俳句賞受

賞。二〇二三年俳句結社「麒麟」創刊。二〇二五年

第七十五回芸術選奨新人賞受賞。句集に『鶉』『鴉』

「爰に至りて疑なき千歳の記念、今眼前に古人の心を閲す。行脚の一徳、存命の悦び、羈旅の労をわすれて、泪も落るばかり也」（『おくのほそ道』より）

この壺の碑への芭蕉の感動に思いを馳せながら、第三十二回「壺の碑」全国俳句大会を開催いたします。特別選者には、西村麒麟先生をお迎えします。また、地元選者として、西山睦、成田一子、高橋健文の各先生をお迎えする予定です。実行委員長 高野ムツオも選を務めます。皆様お誘い合わせの上、奮ってご応募ご参加下さいますようお願いいたします。

※内容は多賀城市のホームページでご確認できます。

